

1	実施計画番号	3090202	事務事業番号	309020203	課(局・室・所)・係・担当者	総務課	危機管理室
---	--------	---------	--------	-----------	----------------	-----	-------

30902総務課

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	2	市民生活・地域づくり・環境・防災	9	防災対策の充実	2	地域防災力の向上	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的取組
2	地域防災力向上事業	3	避難所等整備事業		安全・安心		

事業概要	<p>国は、能登半島地震の反省や、今後発生する可能性の高い南海トラフ巨大地震への対応強化の一つとして、各市町の避難所環境の改善を掲げており、令和6年度補正予算において新しい地方経済生活環境創生交付金(地域防災緊急整備型)を創設した。合わせて、国が最低限必要とする災害用物資・資機材の備蓄量の基準を示したため、当該交付金と同趣旨の地域未来交付金を活用して、備蓄量の基準に達するよう年次的に災害用物資・資機材を購入するもの。なお、令和8年度は、簡易ベット358台、テント式パーティション355張を購入する。また、出水期における避難場所への雨水の流入を防ぐため、止水板を購入する。</p>	対象	避難所を利用する市民・県外者・外国人
	手段	最低限の備蓄品を備える	
	意図	避難所環境改善を促進する	

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率。R7(4月~7月)の上段は年間の目標 中段は4月~7月の実績を記入。

活動指標又は成果指標		R6	R7(4月~7月)	R8	R9	R10
1	避難所環境改善(簡易ベット整備)	活動	358台	358台	358台	358台
			0個			
			0.00%			
2	避難所環境改善(テント式パーティション整備)	活動	372張	355張	355張	355張
			0張			
			0.00%			
3						

R8年度に向けた評価			
	成果	コスト	
前年評価(A)			
事中評価(B)	拡充	拡大	①
(A)と(B)を踏まえたR8年度以降の取組方針	令和7年度は新しい地方経済生活環境創生交付金を活用し、整備。今後も国の示す基準を充足できるよう事務事業を進める。なお令和8年度も地域未来交付金を活用し、整備を行う予定		

35

視点	評価項目	評価理由	評価結果	評価点
妥当性	目的の妥当性	重点プロジェクトに掲げる安全・安心なまちづくりに資する事業である。	5	35
	自治体関与の妥当性	指定避難所設置及び運営は、災害対策基本法に義務付けられた市の責務である。	5	
	対象(受益者)の妥当性	市民、一時滞在者を対象としており妥当である。	5	
有効性	事業の優先度	防災事業であり、市民生活の安全確保のための事業である。	3	
	行政評価との整合性	避難所環境改善事業であり、避難所生活の環境改善に効果の高いものである。	3	
	手法の有効性	目標を達成できる見込みであり、総合計画において設定した防災対策の充実の達成に資するものである。	3	
効率性	実施主体の適正化	避難所の整備は市の責務である。	3	
	受益者負担の適正化	受益者負担を求めることは適当でない。	3	
	コスト効率	国の交付金を財源としている。	5	

事業期間	R7	年度	～	R10	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	交付税	有
予算費目	款	2	総務費		項	1	総務管理費		目	14	防災費	
	大事業	1	防災費			中事業	1	防災費				

(単位:千円)

		総事業費	R6(決算額)		R7(予算額)		R8		R9		R10		R11	R12	
年度別事業内容					・仮設トイレ ・簡易ベッド ・テント式パーティション ・給水コンテナ		・簡易ベッド ・テント式パーティション ・止水板		・簡易ベッド ・テント式パーティション		・簡易ベッド ・テント式パーティション				
支出内訳	R6からR7への線越明許費				機械器具費	39,569千円	機械器具費	10,485千円	機械器具費	10,485千円	機械器具費	10,485千円			
							消耗品費	98千円							
合計						39,569千円		10,583千円		10,485千円		10,485千円			
財源内訳／割合	国庫支出金				地方創生交付金	19,780千円	地域未来交付金	5,240千円							
	県支出金														
	地方債														
	その他														
	一般財源				特別交付税措置あり(0.8)	19,789千円	特別交付税措置あり(0.8)	5,343千円		10,485千円		10,485千円			
合計						39,569千円		10,583千円		10,485千円		10,485千円			

国庫支出金・県支出金・地方債の名称及び所管部署	特記事項
<p>予算支出の根拠となる法律・条例・規則・要綱等の名称</p> <p>災害対策基本法、強くてしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法、国土強靱化基本計画、第1次国土強靱化実施中期計画、山陽小野田市中期基本計画、山陽小野田市地域防災計画、山陽小野田市国土強靱化地域計画</p>	<p>・国の示した基準では、南海トラフ巨大地震発生時における山陽小野田市に必要なベッドは1,882台、パーティション1,882張とされている。令和8年度は地域未来交付金を活用し、簡易ベッド358台、テント式パーティション355張を購入予定である。なおR7.6.26市議会において、避難所等整備事業の災害用物資・資機材の備蓄にあっては5年を待たずに国の基準に達するよう附帯決議されている。</p>

審査番号1 総務課修正資料

令和8年第1回定例会 一般会計予算決算常任委員会資料 修正新旧対照表

修正後		修正前	
○2 ページ		○2 ページ	
【支出内訳】		【支出内訳】	
R7 (予算額)		R7 (予算額)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮設トイレ</li> <li>・ 簡易トイレ</li> <li>・ テント式パーティション</li> <li>・ 給水コンテナ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮設トイレ</li> <li>・ 簡易トイレ</li> <li>・ テント式パーティション</li> <li>・ 給水コンテナ</li> </ul>	
機械器具費	<u>39,569千円</u>	機械器具費	<u>31,778千円</u>
		消耗品費	<u>7,791千円</u>
【財源内訳】		【財源内訳】	
R8		R8	
国庫支出金	<u>5,240千円</u>	国庫支出金	<u>5,200千円</u>
一般財源	<u>5,343千円</u>	一般財源	<u>5,383千円</u>